

(別紙5)

整理番号 2019P-099
補助事業名 2019年度 親と子のふれあい交流活動 補助事業
補助事業者名 公益社団法人 日本クラフトデザイン協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

クラフトデザインに使用される素材の多くは自然素材である。素材がどこから来ているものなのか、そこにはどんな人達が関わっているのか等社会的側面も加味して子供たちとその親に感じてもらうこと、普段の生活を営む中でその体験を生かして欲しいとの願いから本事業は発足した。

子供達とその親にモノ作り・クラフトデザインの素晴らしさを伝えると共に、レクチャー等を通じて内容を深めている。将来、この事業で学んだ方々は日本の文化を支えていき、暮らしを営んでいく一人ひとりとなることが期待される。

実施を重ねる毎に、少しずつではあるものの本事業への理解が参加者を中心に深まっているものと感じる。今後も事業を継続し、数多くある素材や手法を伝えていきたい。

(2) 実施内容

(<http://www.craft.or.jp/home/oyako.html>)

- 「織りもの体験 描いた絵からコースターを作ろう」
2019年8月19日(月) 会場：JXビル1F 3×3Lab Future
参加人数：親子27組 55名
- 「アルミワイヤーで工作しよう」
2020年1月13日(月・祝) 会場：ミッドタウンタワー5F
インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター
参加人数：親子20組 47名
- 第59回日本クラフト展会場に於いて写真・スライドショーによる広報展示
2020年1月6日(月)～14日(火) 東京ミッドタウン・デザインハブ
入場者数：7822名

(別紙5)



夏期ワークショップ



冬期ワークショップ



広報展示

2 予想される事業実施効果

プログラム内容は素材を基本にしながらも、日本人が伝統的に培ってきた技術や歴史等を学べるよう配慮した。この事業への参加をきっかけにクラフト作品のみならず生活文化全体へと視野を広げるきっかけとなってほしいと願う。

これまで他団体との協力の中、派生事業として広報展示や親子を対象としたワークショップを実施してきた。今後もこうした要請については積極的に対応して行きたい。

今後も、本事業を通じてクラフト文化、ひいては日本の文化の本当の良さを将来の生活者である子供たちに伝えることができると考える。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

<http://www.craft.or.jp/home/jka/2019workseika.pdf>

■夏期ワークショップテキスト



■募集チラシ



■冬期ワークショップテキスト



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

<http://www.craft.or.jp/home/jka/2019workseika2.pdf>

■情報誌CRAFT DESIGN



(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益社団法人 日本クラフトデザイン協会
(ニホンクラフトデザインキョウカイ)

住 所： 151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷4-5-15 ストークメイジュ408号室

代 表 者： 理事長 岡 英司 (オカ エイジ)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 事務局長 西川 雅典 (ニシカワ マサノリ)

電 話 番 号： 03-6455-5533

F A X： 03-6455-5534

E - m a i l： info@craft.or.jp

U R L： <http://www.craft.or.jp>